



藤田 まこと

No. 21

議会だより

二〇一六年新春

発行者 藤田 まこと
事務所 青森市中央 1丁目22-5
青森市議会
社民党控室
TEL:017-734-5692
FAX:017-722-8902
印刷所 スタジオとまと
TEL/FAX:017-761-2770



地域の皆さん、
新年明けまして
おめでとうござ
います。

員として、昨年
青森市議会議

も、多くの皆さんに支えられ活動する
ことができました。ご協力とご支援に
感謝申し上げます。

去年の平成二十七年に計四回開催さ
れた、青森市議会定例会での一般質問、
予算・決算委員会の質問等、一年間の
議会での取組をまとめ記載していま
す。ご覧頂き、ご意見を賜れば幸いです。
いろいろな地域課題がありますが、
今後とも地域の皆さんに愛されるよ
う、小さな事を積み重ね活動してまい
りますので、引き続き
お指導ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し
上げます。



青森市議会議員
藤田 まこと

平成27年 第4回定例会 主な補正予算

①東北六魂祭青森開催事業

平成28年度に青森で東北六魂祭が開
催されることに伴うPR活動や準備のため
の経費（平成28年度債務負担行為設
定、限度額1億2千450万円）

②まちづくり寄附制度推進事業

寄附件数の増に伴う経費（約2千68
0万円増）

③まちづくり寄附金の活用事業

高血圧予防健康講座等に使用する啓発
用具購入等の経費（213万5千円）

④誘致企業等立地支援事業

工場等立地促進助成金、雇用促進助成

金の交付経費（約1千600万円）

⑤除排雪対策事業

労務単価の上昇等に伴う委託料の増額
への対応のため（約2千230万円）

⑥小中学校大規模改修事業

小中学校のアスベストが使用されてい
る煙突の封じ込めの再工事経費（約1千
360万円）

⑦人件費関連

配置人員確定に伴う調整（減額：約2
億3千万円）

その他：社会保障・税番号制度システム整
備事業、資産税返還経費、扶助費関連

■意見書が不採択（自民清風会・新政無所属の会・公明党が反対）

「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」・「地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と
雇用安定のための法改正に関する意見書」は、働く側の立場に立った意見書のため賛成討論を行いましたが、3会派の反対で不採択となりました。

定例会の主な一般質問

平成27年第4回定例会

(12月議会)



2. 市職員の定員管理について

質問① 市職員の補助業務を行っている臨時職員の任用について、長期の任用とすべきと思い、考えを質問しました。

答弁 臨時職員については、市民サービスの提供のために必要となる人員確保という観点から、①長期にわたる病気休暇・休職、産前産後休暇、育児休業等のため、その職員の職を欠員にしておくことができない場合、②業務の性質上、その業務が一時的に輻輳する場合、③定数職員を配置しなくてもよい業務である場合などに任用することとしている。

質問② 平成28年度からの定員管理計画策定にあたっての考え方を質問しました。

答弁 現行の定員管理計画における基本的な考え方を踏襲しつつ、事務事業の将来的な見通しを考慮するとともに、研修をはじめとする長期的・計画的な人材育成や職員の休暇・休業の取得状況などのワーク・ライフ・バランスに配慮した視点を持ちつつ、計画の策定に臨みたいと考えている。

また、計画年度内においては、人員削減ありきでない、業務量に見合った適正な人員配置が可能となるよう、機動的に、かつ、柔軟に、状況変化に対応するよう、意を用いて参りたいと考えている。

3. 道路行政について

①道路補修について

答弁 市としても人口減少・少子高齢化の進展など、社会情勢の変化に対応しながら、効果的・効率的に提供するため、活動区域の統合について問題意識を持ちながら考えていく。

答弁 市会議員の質問に対する回答であります。今後は、地域活性化を活発にするには、まず、地域の拠点と区域割りを定めることが必要との考えに基づき質問しました。

再質問..
答弁 市民自治を進めるための新たな「まちづくり協議会」を設立していくこととしており、その活動区域は、地区連合町会の区域を基本とすることとしている。
包括支援センター区分・町会区分・市民センター運営協議会区分等、市民の皆さんのが活動される区がありますが、今後は、地区会区分の区割りを基本として、すべての関連する、活動区分を将来的に町会区分にしていくと言う考えで良いか、質問しました。

答弁 市会議員の質問に対する回答であります。今後は、地域活性化を活発にするには、まず、地域の拠点と区域割りを定めることが必要との考えに基づき質問しました。

答弁 市会議員の質問に対する回答であります。今後は、地区連合町会の区域を基本とすることとしている。

答弁 市会議員の質問に対する回答であります。今後は、地区連合町会の区域を基本とすることとしている。

再質問で、これまでの事業費の推移を聞いた。

当初予算ベース	道路補修に関する委託費 部分的な補修や修繕	道路整備事業工事請負費 側溝・舗装等の改修工事
平成23年度	7520万円	3億5100万円
平成24年度	7522万円	3億0204万円
平成25年度	7140万円	2億2105万円
平成26年度	6458万円	2億4745万円
平成27年度	5120万円	1億9957万円

※工事費の推移に変化がなければ、工事箇所が少なくなっている。
※表を見れば工事の単価が上昇しているので、工事箇所が少なくなっている事がわかり、予算の確保を要望しました。

道路パトロールなどにより、状況把握に努めており、その改修については、交通量や道路破損状況のほか、通学路であるかどうかや地域要望の状況等を勘案し、順次整備しているところであり、今後ともその把握に努めて参りたい。
②雪対策について
答弁 市民が求めているものは除雪であり、市が除雪業者に貸与している機械が日中ほとんど稼働していないことから、貸与している機器を使って市が直接除雪を行ってはどうか、質問しました。

は民間に委託し、道路補修事務所の業務も大幅に縮小した事から、現在、市が所有する除雪機については、15台を除排雪業者に貸与、残る1台のショベルローダーを道路補修事務所の構内除雪に使用しているが、対応が困難である。

アスベストの使用した事のある施設の公表を求めました。

では、平成17年度時点で、アスベスト使用の可能性があるとされた施設170施設から、廃止及びアスベストの除去等を実施した10施設を除いた160施設を「監視対象建築物」として公表しております、現場調査を継続している。これまで、廃止及びアスベスト除去等実施済みの施設については、「監視対象建築物」から外れていることから公表していなかったが、今後はより広い情報提供のため、廃止した施設も含めてその履歴を、ホームページ上で公表するようにしたいと考えている。

4. 障がい者の健康づくりについて

障がい者の生活習慣病を予防するため、健康づくりの取組が必要と思い、市の考えを質問しました。

市としては、障がいのある方もない方も、生活習慣病予防のための健康づくりが必要であることから、適切な運動やバランスの取れた食生活等について、引き続き啓発していくこととしており、今後は、市内の障害福祉サービス事業所等への集団指導の機会を捉え、保健師や栄養士による出前健康講座等の積極的な周知を図るとともに、事業所等とも連携しながら、障がいのある方の健康状態に応じた健康づくりを支援してまいりたい。

5. アスベストについて

いつどこで、アスベストに触れているか判らず、中皮腫等の関連した病気になつた時、原因の手掛かりになればと思い、市の施設の



平成27年第1回定例会

(3月議会)

平成二十七年の一般質問

⑦昨年6月返済猶予した議案の付帯決議に対し、「第2次再生計画の進捗状況を見極めながら、アウガの経営について、適時・適切に判断する」としているが、市長はどうのように判断するつもりなのか質問しました。

1. アウガについて

（3月議会）

①通常、公共サービスを提供する団体として、第3セクターが設立されますが、何のためにアウガを運営する組織、ビル運営会社を「株式会社方式の第3セクター」で設立したのか質問しました。

②ビル運営会社は、青森市と民間企業等との共同出資ですが設立当時からの出資比率の推移について質問しました。

③ビル運営会社に対する、債権の内訳を質問しました。

④市からビル管理会社に対し管理費以外の資金提供をしているのか質問しました。

⑤鹿内市長就任時の2億円融資が期限に返済されなかつた事へ責任があると表明しているが、その意味を質問しました。

⑥昨年9月22日に、前佐々木市長のアウガ設立時の新聞のインタビュー記事への見解を質問しました。

2. 財政運営について

①国から緊急経済対策として示された補正予算のうち、消費喚起券等のメニューが示されている

が、青森市は地域活性化・地域住民生活等緊急支援給付金における地方創生先行型実施事業について、何を行うのか質問しました。

* その他の質問

1. 「元気都市あおもり応援寄附制度」の概要と特産品等の進呈について

2. 合併後10年経過後の優遇交付税制度の減額による影響について

3. 東日本大震災から4年目を迎えた災害対策の準備状況

4. 副市長の2名体制についての市の考え方について

平成27年第2回定例会

(6月議会)

PM2・5について

4月末にテレビでPM2・5の飛散状況が県内の天気予報で放送された事から、市民への注意喚起の周知について質問しました。

要望

視聴覚障がい者や観光客等への情報伝達方法として、電光掲示板の設置をするよう要望した。

子どもの囃子について

本物の太鼓を叩いてみたい子どもたちの夢を叶えてあげたいと思い、各運行団体で不用になつた太鼓を再利用し、小・中学校や、地域での囃子練習に太鼓を貸し出しうる制度について質問しました。

まちづくりについて

青森駅周辺整備推進事業（青森駅の上に橋を架ける事業）が、当初の81・7億円が、なぜ、1.5倍の123・6億円にもなつたのか、市民は知る権利があると思ひ、詳細を質問しました。



青森駅周辺整備事業について

私の考え方

青森駅前周辺整備は必要と思うが、現状の橋上の自由通路が中心の整備計画は古く、時代に合つた整備事業を早急に行うべきと考えています。（橋ではなく下を歩いて横断できる事業）

II 予算委員会質問項目 II

- ①アウガの経営再建について
- ②障がい者に対する虐待について

平成27年第3回定例会

(9月議会)

公共サインについて

青森市内の公共的な標識に統一性がないことから、市としての取り組みについて2点質問しました。

1. 観光振興を目的とした公共サインについて
2. 公共サインについて市統一的なガイドラインの策定について

要望事項

①青森市も観光客の増加に伴つて、トイレ及び各公共施設の場所の周知を提言しました。

②遠くからでも、公共のトイレがわかるような仕組みが作れないか、遠くから認識出来るような標記の検討をお願いしました。

③青森駅前にある公衆トイレに「WC」表示がありますが、この際、一般的なピクトグラムでわかりやすい表示してと要望しました。

④市の公共施設内のトイレも、市民の皆さん気が軽く利用できるように入口に表示するよう要望しました。

※観光都市を目指している他都市では公共サインガイドラインが策定されている事から、早期の策定を求めました。

2. 水難事故対策について
沖館川河口のような住宅街を流れる2級河川の水難事故防止対策を聞いた。

他の一般質問の概要

1. 防止対策として、要所に救難器具の設置を求めました。
2. 青森駅周辺整備事業について
3. 家庭の訪問調査について

II 予算委員会質問項目 II

情報コーナーについて

- ①平成21年8月～翌年3月の試行期間の結果を踏まえ、なぜ、改

その他

ノー残業デーの設置について

めて日・祝日の情報コーナーの窓口の開庁を行うのか

②情報コーナー及びまちなか保健室における、勤務公署・体制及び休業日について

③現在、本庁の土曜日の開庁時の各種証明書の発行件数は、本庁の土曜日開庁を止めるという事は、6年もの間、市民に馴染んできているのに、市民サービスの低下ではないのか。

④自動交付機は1台設置費用はいくらか。

⑤整備費用として36,359千円、内訳は。

⑥⑦⑧⑨万が一、アウガリアルすれば、新たな経費が必要になるのでは、万が一、アウガの経営が困難になつた場合、商業フロアは立ち入り禁止になるのではないか。

⑩来年4月からの情報コーナー運営費のおおよその算定は

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

ホームページ アドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>